

平成 28 年度 安全工学会 北川学術賞

受賞候補者 中村 昌允 (ナカムラ マサヨシ)

推薦理由

中村昌允氏は、1968 年東京大学工学部工業化学科を卒業後、ライオン油脂株式会社（現ライオン株式会社）に入社、プロセス開発研究室長、素材開発センター所長などを経て、2005 年より東京農工大学大学院技術経営研究科教授、現在は東京工業大学大学院環境・理工学院特任教授、東京大学非常勤講師を務め、「技術者倫理とリスク管理」等の講義を担当されています。この間、1996 年埼玉大学理工学研究科博士後期課程を修了し、博士（工学）を取得されました。

中村氏は、ライオン株式会社が在職中の 1991 年 6 月に同社千葉工場で起きた「メタノール蒸留塔の爆発事故」に遭遇され、そのプロセス開発者としての責任を痛感され、それ以来、化学プラント事故をはじめ多くの事故における「技術者の判断と行動」ならびに「事故の根本原因とその是正策」について研究されてきました。

その研究概要は、著書「事故から学ぶ技術者倫理」（工業調査会 2005 年）、「技術者倫理とリスクマネジメント」（オーム社 2012 年）、「製造現場の事故を防ぐ安全工学の考え方と実践」（オーム社 2013 年）等で発表しておられます。

また、厚生労働省・中央労働災害防止協会の「化学工業における元方事業者・関係請負人の安全衛生管理マニュアル」ならびに「自動車製造業における元方事業者・関係請負人の安全衛生管理マニュアル」を、マニュアル作成委員会委員長として取りまとめておられます。

中村氏は、三井化学㈱「岩国大竹工場爆発火災事故」、㈱日本触媒「姫路製造所の爆発火災事故」の事故調査委員会委員、日本化学工業協会「保安事故防止 WG」委員、「PL 相談センター運営委員」、安全工学会「保安力向上センター」運営委員、中央労働災害防止協会「労働安全衛生マネジメントシステム（JISHA 方式 OSHMS）」認定審査委員会委員、(独)労働安全衛生総合研究所外部評価委員会委員長、日本学術会議「安全目標の検討小委員会」幹事などの安全に関する種々の委員会に参画されています。

また、安全工学会セミナー講師、千葉県千葉臨海コンビナート人材育成講座「トップセミナー」講師など産業界の安全人材の育成活動にも従事しておられます。

このように、中村氏の安全に関する研究活動、学会活動、社会的活動における業績は、安全工学会の北川学術賞にふさわしいものであります。

略歴 中村 昌允（なかむら まさよし）

<学歴>

1968 年 3 月 東京大学工学部工業化学科卒業

1994 年 3 月 埼玉大学理工学研究科生産情報科学専攻終了 博士（工学）取得

<職歴>

1968 年 4 月 ライオン油脂株式会社（現 ライオン株式会社）入社

1988 年 6 月 ライオン株式会社研究開発本部プロセス開発研究室長

1992 年 4 月 ライオン株式会社研究開発本部素材開発センター所長

1998 年 4 月 ライオンオレオケミカル(株)取締役

2001 年 4 月 ライオンエンジニアリング(株)取締役

2005 年 4 月 東京農工大学 大学院技術経営研究科技術リスクマネジメント専攻教授

2008 年 4 月 東京工業大学 大学院イノベーションマネジメント研究科客員教授を兼務

2014 年 3 月 東京農工大学退職、東京工業大学客員教授継続

2015 年 11 月 内閣府遺棄化学兵器処理対策室 事業参与 （継続）

2016 年 4 月 東京工業大学 大学院環境・社会理工学院特任教授 （継続）

（東京工業大学の制度変更による変更）

この間 東京大学、埼玉大学、早稲田大学、工学院大学等の非常勤講師を務める。